



高橋あきら 後援会だより

令和8年7月 第13号

発行：高橋あきら後援会
後援会：日立市河原子町1-1-1
電話：0294-33-1273
FAX：0294-32-3620



令和8年 第2回日立市議会定例会を開催

6月4日(木)から19日(金)までの16日間の会期日程で、定例会が開催されました。

本定例会の中で提出された議案等は、計14件、陳情・請願はなく、それぞれ所管する事項毎に各委員会へゆだねられ、慎重に審査・調査を行いました。

その後、本会議の中で、各委員長より報告があり、議会としての採決の結果、全議案とも原案可決ならびに原案承認となりました。

議案の内訳		件数[件]
1	予算関係	2
2	条例・契約関係	2
3	その他 (市道の廃止及び認定・専決処分等)	3
4	報告	7
5	陳情・請願	0

令和8年度6月一般会計補正予算【補正額】17億5,261万円

原案
可決

主な事業(補正の概要)

1. コミュニティ推進事業費【250万円】

- ▶(一財)自治総合センターの「コミュニティ事業助成金」を活用し、コミュニティ活動用備品(アルミステージ)の購入費を補助

【対象】豊浦学区まちづくり推進会

2. 私立認定こども園整備費助成事業費【3,671万円】

- ▶私立認定こども園における空調機更新にかかわる費用を補助

【事業者】学校法人茨城キリスト教学園

【施設名】茨城キリスト教大学附属認定こども園
みらい園(大みか町)

3. 道路確認経費【1,698万円】

- ▶紙媒体やマイクロフィルムの道路境界確定資料を電子化し、窓口での情報公開に活用

4. 建築行政デジタル推進事業費【4,850万円】

- ▶紙媒体やマイクロフィルムの建築計画概要書等を電子化し、地図情報システムと連携させ、窓口での情報公開に活用

5. 桜の保護育成事業費【187万円】

- ▶特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)防除対策を拡充

6. 救急救助消防活動経費【495万円】

- ▶寄附金を活用し、高度救急処置シミュレーターを更新(日立消防署・北部消防署 各1台)

7. 金沢町地内道路(市道6750号線)整備事業費【2億5,670万円】

- ▶残土処分地整備工事、掘削工事などの事業費増額

【補正後】8億4,295万円

8. 常陸多賀駅周辺地区整備事業費【10億2,397万円】

- ▶東口交通広場整備工事、物件移転補償などの事業費増額

【補正後】18億200万円

9. 関口間々下線改築事業費【8,186万円】

- ▶用地取得、物件移転補償事業費を増額

【補正後】1億5,625万円

10. 中学生スポーツ・文化活動推進事業費【1,702万円】

- ▶中学生を受入れる認定地域クラブに対し、活動経費を補助

【対象】スポーツ系クラブ 33団体
文科系クラブ 2団体

11. 日立駅前再活性化事業費【524万円】

- ▶寄附金を活用し、屋内型子どもの遊び場「Hiタッチらんど・ハレニコ!」に、新たな大型遊具2台を整備



一般質問へ登壇

質問の概要

1. 空き家対策を促進する取組について

- (1) 狭隘道路に接する空き家解体への支援拡充について
- (2) 空き家所有者の意思決定を促す取組について
 - ア 空き家対策フロー型手順書の作成について
 - イ 概算額シュミレーション環境の整備について

2. 市営住宅用途廃止の円滑化と

財政負担軽減に向けた取組について

- (1) 「市営住宅ストック総合活用計画」の柔軟な運用による借地の早期解消について
- (2) 解体を前提としない手法について
- (3) 民間賃貸住宅への移転支援体制構築について



詳細は、日上市議会会議録
をご参照ください。



「一般質問」とは

議案に関係なく、市政全般について市長
など執行機関の考えや方針を問い質すこと。

質問の詳細(抜粋)

1. (1) 狭隘道路に接する空き家解体への 支援拡充について

【質問】

本市では、空き家解体補助制度を設けているが、幅員4m未満の狭隘道路に接する空き家では、重機搬入が困難なため解体費用が高額となり、制度を利用しても空き家所有者の経済的負担が大きく解体が進まないケースがある。

結果、空き家の老朽化が進み、倒壊等による周辺環境への悪影響や災害時の避難・救助活動の妨げとなる懸念から、個人の課題にとどまらず地域防災力に直結する課題である。

そこで、狭隘道路解消に向けた道路後退用地提供などを条件とした加算措置など、現行制度拡充により所有者の経済的負担軽減と解体促進を図り、地域防災力や市民の安全・安心な生活環境向上を図るべきと考えるが、執行部の見解を伺う。

【執行部答弁】

本市では、狭隘道路解消に向け、建築後退用地の寄附受入れや生活道路拡幅を進めるとともに、空き家解体補助事業に取り組み、経済的負担軽減や利活用促進、地域防災力の向上などを図っている。

一方、市内空き家の約7割が、旧耐震基準の建物のため、倒壊や接道条件による救助・復旧活動の長期化などの災害リスクを軽減させ、市民の安全、安心を確保する必要がある。

今後は、空き家実態や所有者意向調査を踏まえ、接道条件が整わない空き家の状況やニーズを把握し、狭隘道路解消等を条件とした加算措置等を検討など、さらなる空き家対策の推進と生活環境改善、地域防災力向上を図っていく。

2. (1) 「市営住宅ストック総合活用計画」の柔軟な 運用による借地の早期解消について

【質問】

本市では、「市営住宅ストック総合活用計画」に基づき用途廃止を進めているが、入居者の移転が完了しない団地では解体に着手できず、計画に遅れが生じている。

また、市営住宅の約55%は借地に立地していることから、用途廃止の遅れが生じると借地料や老朽化に伴う修繕費の負担増につながる。

厳しい財政状況を踏まえれば、計画順にとられず、移転が完了した団地の前倒し解体や、借地部分の部分的解体・返還など、柔軟な運用により借地の早期解消と管理コスト縮減を図るべきと考えるが、執行部の見解を伺う。

【執行部答弁】

本市では、公共施設マネジメント基本方針において、施設総量削減を重点取組の1つに位置づけており、市営住宅ストック総合活用計画に基づき、市営住宅の管理戸数削減に向けた用途廃止事業を進めている。しかし、国の交付金配分のほか、入居者の移転が完了しない団地では解体に着手できず、計画に遅れが生じている。

また、市営住宅の約55%が借地であることから、借地料の縮減や跡地活用の観点からも着実な推進が重要であると認識している。

今後は入居者の理解と協力を得ながら、移転が完了した団地の優先的な解体を進めるとともに、部分的な解体や借地返還についても、費用対効果や地権者の意向等を踏まえ検討し、借地の早期解消と財政負担軽減を図っていく。



トピックス

AI 電話対応の実証事業を開始！

～市民サービス向上と職員の業務負担軽減や業務効率化をめざす～

本市では、令和8年3月策定の「行政経営改革プラン」における重点項目の1つである「行政DX」の実現に向け、本年6月19日より国民健康保険課において、AIを活用した電話対応サービスの実証事業を開始しています。

本事業は、民間事業者が提供する最先端の対話型AIクラウドサービスシステム「AI電話対応さくらさん」を導入し、市民からの制度内容や手続き方法などの「定型的な問合せ」に対し、同時に100人まで、24時間365日対応できる体制構築を進めています。

なお、AI電話が対応できない個人情報を伴う相談や複雑な判断を必要とする問合せについては、担当職員へ電話を転送(※1)する仕組みです。

このことにより、市民にとっては、いつでも電話での問い合わせが可能となるとともに、電話上での待機時間が短縮されるなど、機会損失の低減と市民サービス向上が期待されます。

また、担当職員にとっても、電話対応頻度の減少により負担が軽減されるとともに、本来業務により

多くの時間を充てられるようになり、業務効率化が期待されます。

一方で、AI電話の対応精度や業務効率化の詳細効果などについて、継続して確認していく必要があるものと考えます。

本事業は、持続可能な行政運営体制を構築するための1つの有効な手段と考えますので、ぜひ、実証事業へのご協力をお願いいたします。

(実証期間：令和8年6月19日～当面の間)

◆「AI電話対応さくらさん」専用電話番号
050-1784-3111

◆担当職員への転送時間(※1)
平日の午前8時30分～午後5時15分まで

◆対応可能な問合せ
下記にかかわる制度内容や手続き方法など
・国民健康保険 ・後期高齢者医療保険
・国民年金 ・医療福祉費 など

日立おさかなセンター周辺地区再整備基本構想を策定へ

～利用者の回遊性向上や滞在時間延長を見据えた一体的なエリア形成～

本市の南の玄関口となる道の駅「日立おさかなセンター」は、海に隣接した立地を生かし、観光誘客と地元水産業の活性化を担う重要な交流拠点です。イベントによるにぎわいづくりや新鮮な海産物を活用した食の提供などにより、市内外から多くの来訪者を集めています。

一方で、建築から30年以上が経過し、老朽化に伴う修繕や建替えが必要な状況のほか、駐車場の分

散や台数不足といった課題も抱えています。

さらに、道の駅に求められる役割は、「休憩の場」から「目的地となる施設」、そして現在では「地方創生や観光を牽引する拠点」へと変化しており、子育て支援や防災機能など、その役割も多様化しています。

こうした背景を踏まえ、今般、道の駅を含む周辺地区の一体的な再整備の方向性を示す基本構想策定に向けた取組が進められていきます。

策定にあたっては、専門事業者に委託し、現状課題や先進事例調査、市民や来訪者ニーズ調査などを実施します。

その上で、再整備の基本コンセプトや整備・運営手法の検討、ゾーニングやイメージパースの作成などを行い、令和9年3月の策定に向け基本構想をとりまとめていきます。

今後は、策定される基本構想が、本市のにぎわい創出や観光振興に資するものとなるかという観点から、取組の動向を注視していきます。



常陸多賀駅周辺地区整備事業が本格的な工事段階へ

～持続可能な魅力あるまちづくりの実現に向け～

本市では、常陸多賀駅周辺地区の持続可能な魅力あるまちづくりを計画的に推進するため、令和元年度に策定した「常陸多賀駅周辺地区整備計画」に基づいた整備事業が進められています。

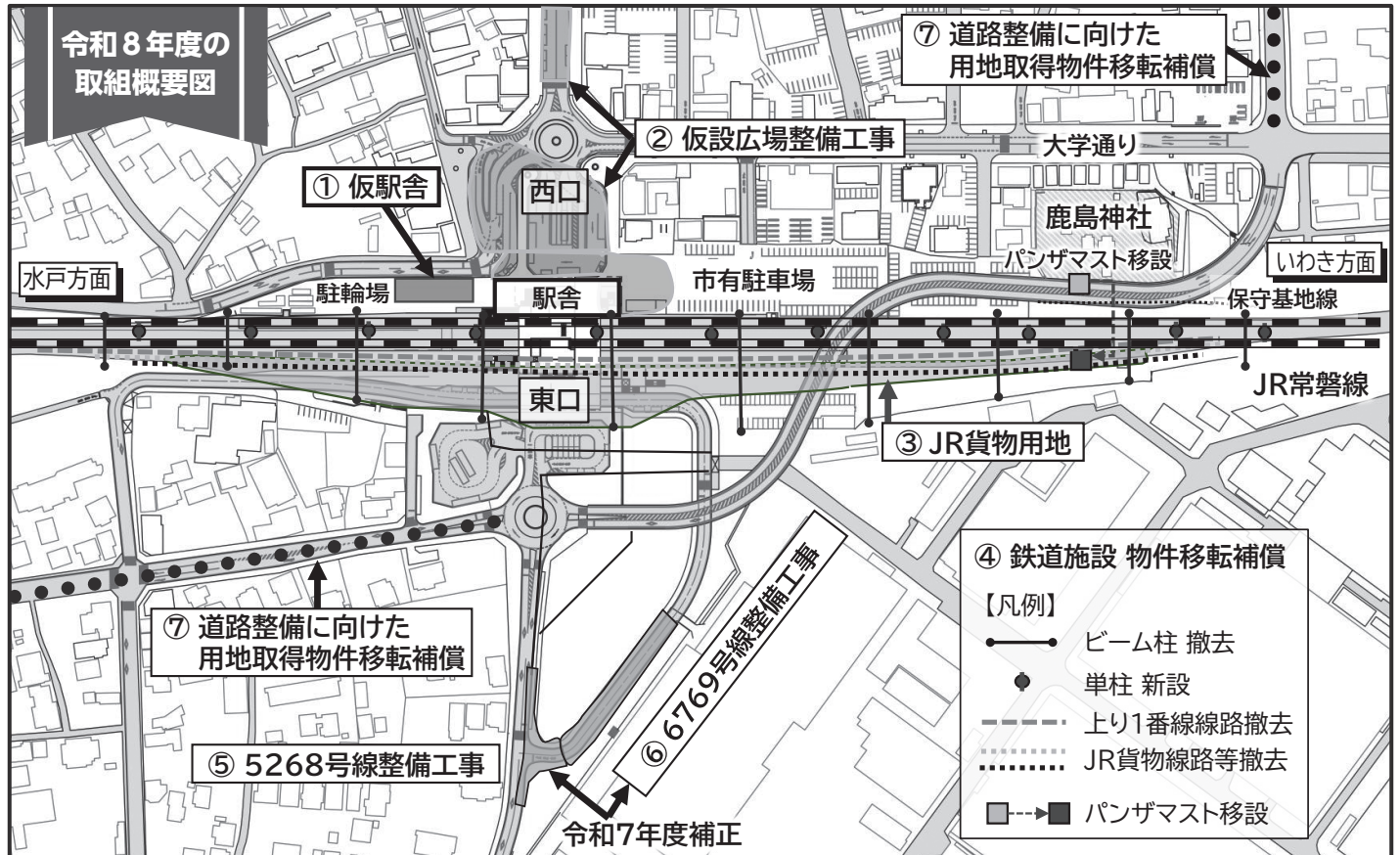
本事業により、常陸多賀駅周辺地区における①駅前交通混雑解消、②良好な道路ネットワークの形成、③JR常磐線を跨ぐ高架式道路整備による防災性向上が期待されています。

これまで、令和6年度に策定したランドデザイン

の実現に向け、自由通路・駅舎の実施設計や鉄道施設の支障移転、道路整備用地の取得などが着実に進められてきました。

そして今年度からは、仮駅舎の整備や仮設広場の整備工事、鉄道・道路等整備用地の取得、市道整備など、本格的な工事段階へと移行していきます。

今後は、事業の進捗状況を丁寧に確認するとともに、工事期間中における地域住民や駅利用者の安全と動線確保についても引き続き注視してまいります。



◆主な取組項目と実施時期概要

項目/年度		R8	R9
西口	① 仮駅舎整備		支障建物等撤去→仮駅舎整備
	② 仮設広場整備工事		工事→切替
東口	③ 鉄道用地取得 (JR貨物用地)	用地取得	
	④ 鉄道施設物件移転補償		上り1、2、3番線線路等撤去 物件移転補償
	⑤ 市道6769号線外1路線道路整備(令和7年度補正) ⑥ 市道6769号線整備工事	市道5268号線整備工事 市道6769号線整備工事	
駅周辺	⑦ 道路等整備用地取得、物件移転補償	用地取得、物件移転補償	

編集後記

気象庁の長期予報によると、今夏気温は、全国的に平均よりも高く、エルニーニョ現象の動向で猛暑の恐れがあるようです。熱中症等には気を付けてお過ごしください。

また、本市では、「まちなかオアシス」として、公共施設や商業施設設計133か所にクーリングシェルターを設置しておりますので、お出かけの際はご活用ください。

高橋あきら

仕事の不満や不安、悩まないでお電話を
何でも労働相談
 0120-154-052
通話料0円